

意見書案第3号

带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書

上記の意見書案を提出する。

令和4年12月20日提出

提出者	東浦町議会議員	米村佳代子
賛成者	東浦町議会議員	秋葉富士子
	東浦町議会議員	向山恭憲
	東浦町議会議員	鏡味昭史
	東浦町議会議員	間瀬元明
	東浦町議会議員	前田明弘
	東浦町議会議員	三浦雄二
	東浦町議会議員	間瀬宗則
	東浦町議会議員	水野久子
	東浦町議会議員	小松原英治
	東浦町議会議員	田崎守人
	東浦町議会議員	長屋知里
	東浦町議会議員	杉下久仁子
	東浦町議会議員	山田眞悟
	東浦町議会議員	大川晃

提案理由

带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求めるため、提案するものである。

带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるともいわれている。

そこで政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和4年12月20日

愛知県知多郡東浦町議会

厚生労働大臣

財 務 大 臣 宛